

プラセンタ療法が持つ可能性

吉祥寺中医クリニック/日本東方医学会 会長/日本胎盤臨床医学会 理事長 (東京都)
長瀬 眞彦

プラセンタ療法とは、胎盤を治療に使用する療法を意味する。1930年代に開発され、長年にわたり臨床で用いられており、肝疾患、婦人科疾患、アレルギー性疾患などに対する多様な疾患への有効例が報告されている¹⁾。今回、プラセンタ療法についての総説を述べる。

キーワード

プラセンタ療法、ヒト胎盤抽出物由来製剤、メルスモン[®]、ラエンネック[®]、プラセンタサプリメント

現在、日本で行われているプラセンタ療法に、プラセンタ注射製剤とプラセンタサプリメントの2種類がある。プラセンタ注射製剤にはヒト胎盤が用いられ、厚生労働省が認可した特定生物由来製剤であり、処方箋医薬品である。一方プラセンタサプリメントにはブタやウマの胎盤が用いられ、健康食品に分類されている。その他に、現時点で施行している施設は限られるが、加熱滅菌処理したヒト胎盤を皮下に埋め込む「胎盤埋没療法」がある^{2, 3)}。東洋医学では、ヒト胎盤は古くから生薬として用いられており、明時代の「本草綱目」に「人胞(じんぼう)」の名で記載されている⁴⁾。他に様々な名称があったが、中でも「紫河車(しかしゃ)」が一般的な呼称となり現在に至っている。紫河車の生薬としての薬効は、補腎益精、益気養血であり、不妊症、陽萎、遺精、腎虚の腰部倦怠や耳鳴り、また肺腎陰虚の咳嗽・喘息、などに使用されてきた⁵⁾。紫河車を構成生薬として含む方剤としては河車大造

丸がよく知られている⁶⁾。

ヒト胎盤抽出物由来製剤であるプラセンタ注射には、メルスモン[®]とラエンネック[®]の2種類がある。メルスモン[®]とラエンネック[®]は、それぞれ1959年と1974年に厚生労働省に認可され、前者は更年期障害及び乳汁分泌不全に^{7, 8)}、後者は慢性肝疾患における肝機能の改善に保険適用がある⁹⁾。厚生労働省が認可している投与方法は、メルスモン[®]が皮下注射、ラエンネック[®]が皮下または筋肉注射のみである。プラセンタ注射に関

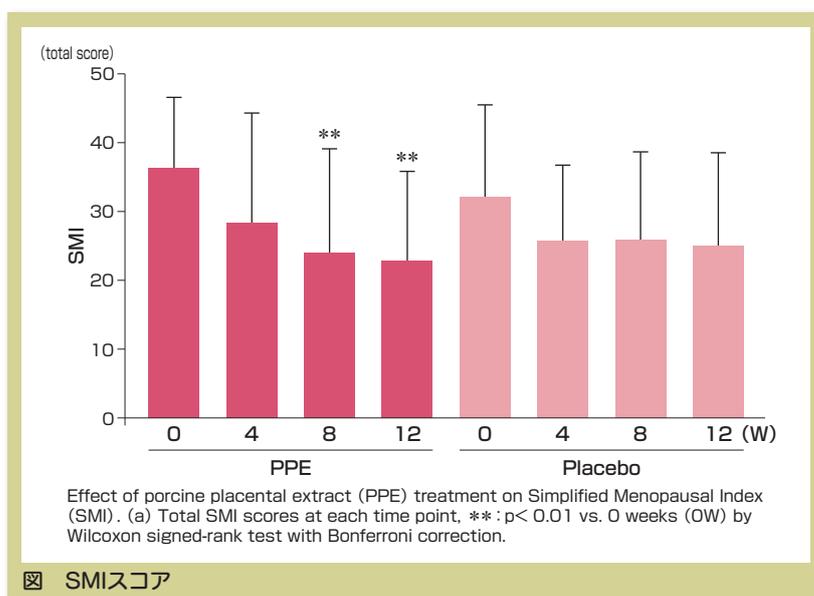


図 SMIスコア

しては長年の臨床経験によって、上記疾患以外にも様々な効果が確認されている。アトピー性皮膚炎に対する有効性^{3, 10)}、慢性疲労症候群に対する効果¹¹⁾、高齢女性の心身の不調改善効果¹²⁾、骨盤内炎症性疾患に対する効果¹³⁾、非アルコール性脂肪性肝炎に対する効果などである¹⁴⁾。また、経穴に注射することによって、変形性膝関節症の疼痛軽減効果¹⁵⁾、複合性局所疼痛症候群の症状軽減効果も報告されている¹⁶⁾。プラセンタサプリメントでは、われわれ日本胎盤臨床医学会が、多施設共同で行ったRCTがある。SMIスコア(簡略更年期指数)50以下である比較的軽微な更年期症状を持つ女性が、1日300mgのブタプラセンタサプリメントを摂取したところ、プラセボ群と比して、摂取開始12週後には有意にSMIスコアが改善した¹⁷⁾(図)。プラセンタ注射が疾患治療に用いられる一方、プラセンタサプリメントは美容皮膚領域でも用いられており、ボンプラセンタ[®]を8週間摂取し、肌の状態などを検討したところ、「毛穴の目立ち、毛穴の黒くすみ、顔色が悪い、敏感肌」でスコアの有意な低下がみられたという報告もある¹⁸⁾。プラセンタ療法の作用機序であるが、プラセンタ注射製剤では、抗炎症作用、抗酸化作用、肝細胞再生作用が報告されており¹⁹⁻²¹⁾、サプリメントでも抗炎症作用があることが報告されている²²⁾。また、ブタプラセンタエキスに含まれるエタノールアミンの存在が作用発現に重要であるという報告もある²³⁾。しかしながらプラセンタエキスは、現時点ではまだ同定できていないものも含め、多種類のペプチドや遊離アミノ酸を含んでおり、これらの多様な成分が体内に取り込まれた時の体内での反応によって効果が発現している可能性も否定できない¹⁷⁾。さらなる研究が待たれるところである。

【参考文献】

- 1) 日本胎盤臨床医学会 研究要覧 20-21, 11-18, 2017
- 2) 東方医学 20(3): 31-38, 2004
- 3) Bella Pelle 4(3): 170-174, 2019
- 4) 国訳 本草綱目 春陽堂書店 537-544, 1979
- 5) 三浦於克: 実践漢薬学 東洋学術出版社, 第1版: 350, 2011
- 6) 神戸中医学研究会 編著 中医臨床のための方剤学 医歯薬出版株式会社, 第1版: 263, 1992
- 7) 唐沢陽介 ほか: 薬理と治療 9: 299-308, 1981
- 8) 唐沢陽介 ほか: 基礎と臨床 15: 661-670, 1981
- 9) 上田英雄 ほか: 肝臓 15, 162, 1974
- 10) Elisyutina OG, et al.: The first experience of Human placental extract in atopic dermatitis in Russia. Russian Allergology Journal 1: 97-104, 2010
- 11) Park SB, et al.: Human Placental Extract as a Subcutaneous Injection Is Effective in Chronic Fatigue Syndrome: A Multi-Center, Double-Blind, Randomized, Placebo-Controlled Study. Biol Pharm Bull 39: 674-679, 2016
- 12) Mi Hee Kong, et al.: Effect of human placental extract on health status in elderly Koreans. Evidence-Based Complementary and Alternative Medicine: 1-5, 2012
- 13) Agarwal N, et al.: Clinical efficacy of placentrex injection in pelvic inflammatory disease. J Indian Med Assoc 108: 117-118, 122, 2010
- 14) Shimokobe H, et al.: Human placental extract treatment for non-alcoholic steatohepatitis non-responsive to lifestyle intervention: A pilot study. Hepatology Research 45: 1034-1040, 2015
- 15) Kyeong Mee Park, et al.: Therapeutic effect of acupuncture point injection with placental extract in knee osteoarthritis. Journal of Integrative Medicine 15: 135-141, 2017
- 16) Kyeong Mee Park, et al.: Complex regional pain syndrome type 1 relieved by acupuncture point injections with placental extract. Journal of Acupuncture and Meridian Studies Jun 7: 155-8, 2014.
- 17) Kitahara M, et al.: Effect of porcine placental extract on the mild menopausal symptoms of climacteric women. Climacteric Apr; 20(2): 144-150, 2017
- 18) 野本真由美 ほか: プラセンタによる肌のエイジングケア: 医学と薬学 73: 1441-1446, 2016
- 19) Banerjee KK, et al.: Anti-inflammatory effect of human placental extract: a biochemical mechanistic approach. Riv Eur Sci Med Farmacol 14: 361-6, 1992
- 20) Togashi S, et al.: Antioxidative collagen-derived peptides in human-placenta extract. Placenta 23: 497-502, 2002
- 21) Jung J, et al.: Placenta extract promote liver regeneration in CCl4-injured liver rat model. Int Immunopharmacol 11: 976-84, 2011.
- 22) Kawakatsu M, et al.: Placental extract protects bone marrow-derived stem/progenitor cells against radiation injury through anti-inflammatory activity. J Radiat Res 54: 268-76, 2013
- 23) 与茂田敏 ほか: プラセンタエキスの有効成分について: phil漢方 58: 36-37, 2016

